

会長挨拶

会員の皆様へ

日本人口学会会長 金子 隆一

本年6月より会長を務めさせていただいている国立社会保障・人口問題研究所、金子隆一です。この場をお借りしまして、会員の皆様にひとことご挨拶を申し上げます。今年で68年となる長い歴史を持ち、著名な先生方によって引き継がれてきた伝統ある日本人口学会の会長をお引き受けすることとなり、この半年間、身の引き締まる思いで過ごして参りました。もとより微力ではありますが、理事の先生方や皆様のご支援を仰ぎながら、引き続き本会と人口学の発展に尽くしたいと思っております。

さて、わが国社会は戦後長らく欧米先進国の経済社会を模範として、これに追いつくことを目標として進んで来たわけですが、ふと気がつくとならば経済の分野ではなく、人口高齢化と人口減少という事態においてこれらの国々を追い越し、今や課題「先進国」と呼ばれる国となっています。かつて目前に思われた経済世界一の称号は、グローバル化の波のまにまに幻と消え、その「つけ」だけが多世代ローンとして残りました。この「人口減少・超高齢社会」と呼ばれるつけ、すなわち課題が積み上がった光景は、私たちが目指した頂きから見えるはずの景色とはあまりに違っており、誰もが戸惑うばかりです。こうした時代に、こうした国に居合わせた私たち人口学徒は何を成すべきでしょうか？一番戸惑っているのは私たちかもしれません。確かなはずの理論から逸脱する人口、経済、社会、高まる社会的期待と責任、一方で縮減する財源と強まる研究への制約。しかし、こうした時代にしか知り得ない知見、この国だからこそ明瞭に見える法則が有るはずだと考えています。歴史を見れば、人間は困難な時代にこそ何かを学び、次段階への飛躍を獲得しています。ただし、それらを成したのは、混乱に翻弄されることなく、科学的方法論に揺るぎなき信頼を貫き、ことの本質を見抜いた人々です。この時代に、日本人口学会はそういう存在でありたいと願っています。これからも学会誌や年次大会において、皆様が得た変化の「本質」を持ち寄り、あれこれと討議することを心から楽しみにしている次第です。

本学会は環境が大きく変化するなか、人口に関する科学的な調査研究を推進し、関連研究者の相互交流を図り、人口学の発展に寄与するという目的を果たすため、常に最適な体制作りや企画を模索しています。学会のあり方について、ご助言やアイデア、あるいはお気づきの点などがありましたら、ぜひお聞かせください(事務局または理事にお伝えください)。皆様とともに学会と人口学の発展のために、全力で取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いたします。

◆大会企画委員会からのお知らせ

大会企画委員会 委員長 和田 光平

日本人口学会は、第69回大会を2017年6月10日(土)、11日(日)の2日間、宮城県仙台市の東北大学理学部において開催いたします。会員の皆様はもちろん、人口にご関心のある研究者や学生の非会員の皆様にも積極的にご参加いただければ幸いです。

シンポジウムと各セッションは下記の通りです(セッション番号は、プログラム編成上、変更する可能性があります。) 今大会では、前日プログラムはありませんが、6月12日(月)に巡検として、東日本大震災被災地の視察も企画されています。また、6月10日(土)の午後に公開シンポジウム「東北の人口問題：過去、現在、そして未来？－災害と共に生きてきた人々－」が開催されます。また、ここ数年継続して設定されている英語による企画セッションとテーマセッションも予定されています。テーマセッションでは報告が公募されますので、自由論題と同様に積極的にご応募ください。会員総会、懇親会は6月10日(土)の予定です。

なお、実効性のある情報提供を図るため、要旨等の報告内容の情報はすべてWebメディア(学会メーリングリスト、ホームページなど)を通じて閲覧ならびにダウンロードできるようします。

日本人口学会 第69回大会

シンポジウム(一般公開)

東北の人口問題：過去、現在、そして未来？－災害と共に生きてきた人々－
組織者：阿部 隆

テーマセッション1(報告者公募)

地域研究の視点からみた人口
組織者：三澤 健宏

テーマセッション2(英語使用の可能性あり、報告者公募)

主観的データを用いた人口学的研究 Subjective Data in Demography
組織者：影山 純二

企画セッション1

家族の地域性：歴史的観点からの都市と農村の比較
組織者：高橋 美由紀

企画セッション2(英語使用)

Low Fertility in East Asia and Women's Employment
東アジアの少子化と女性の就業：その類似性と多様性
組織者：永瀬 伸子

企画セッション3(英語使用の可能性あり)

少子化を巡る意識と家族・労働政策の国際比較
Comparative study on people's perception of fertility decline and its relationship with the family and labor market policies
組織者：大石 亜希子

企画セッション4

第15回出生動向基本調査からみた日本における結婚・出生
組織者：石井 太

企画セッション5

出生の生物人口学
組織者：小西 祥子

【6月12日(月)】巡検

津波災害と原子力災害の被災地を訪ねる
参加費用：昼食代を含めて4千円程度

◆編集委員会の活動報告

編集委員会 委員長 林 玲子

機関誌『人口学研究』第52号(第39巻第1号)は、2016年9月に皆様のお手元に届いたことと思います。これをもって、2014/2015年度の編集委員会は役目を終え、2016/2017年度編集委員会にバトンタッチしました。新しい編集委員会メンバーは次の通りです。

委員長 林玲子、副委員長 井上孝・川口洋、委員 影山純二・加藤久和・中川聡史・守泉理恵、幹事 中川雅貴・藤井多希子。現在、第53号(第40巻第1号)の刊行に向けて鋭意作業中です。

すでに次号に向けて、投稿募集メールを会員の皆さまにお送りしましたが、6本の登録がありました。2017年1月5日までに投稿していただくようよろしくお願いいたします。また並行して、「学界展望・消息」「書評」「新刊短評」「地域部会報告」についても、編集委員会で内容を決定し、現在執筆依頼を行っているところです。

現在『人口学研究』は論文別にCiNii(NII学術情報ナビゲータ)でPDF公開しておりますが、2017年3月頃よりJ-STAGE(国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)による科学技術情報発信・流通総合システム)に移転いたします。アドレスなど確定いたしましたら日本人口学会WEBやメーリングリストでお知らせいたします。

◆IUSSP国際セミナーについて

副会長 黒須 里美

2016年12月9-10日、麗澤大学において、IUSSP国際人口セミナー“Linking Past to Present: Long-Term Perspectives on Micro-Level Demographic Processes”を開催しました。本セミナー18本の論文は、マイクロレベルデータを用いた長期的視野からの人口変動(結婚、出生、多世代同居、社会的・地理的移動行動)に関する最新の研究成果です。それぞれ20分の発表に続いて25分の質疑応答と議論が行われました。オブザーバーも含めて35名程の参加者で、朝8時半から午後の5時半まで、2日間、集中した、かつ活発な議論が展開しました。10カ国から集まった研究者は、世界の歴史人口学研究拠点のリーダーたちと次世代を担う若手研究者たちでした。各国で構築の進む大規模なマイクロデータを用いて、過去と現代をつなぐ(Linking past to present)、これまでにない長期的な視点と方法から、現代の重要な人口問題に迫る成果を得、今後の歴史人口学の新たな研究の視野とさらなる学際的アプローチの可能性が開かれたという手応えを感じた、実りあるセミナーとなりました。内容報告はIUSSP(国際人口学会)ウェブのScientific Group/Historical Demographyに掲載されます。

本セミナーは国際人口学会(IUSSP)歴史人口学パネルと麗澤大学「廣池千九郎生誕150年記念事業」共催として行われました。日本人口学会には「協賛」として、ウェブ案内のサポートやオープニングにおける金子会長の祝辞をいただき、発表者・オブザーバーとして会員の積極的な参加とご協力を得ましたことをご報告・感謝いたします。

◆総務委員会の活動報告

総務委員会 委員長 石井 太

2016年10月29日に場所 国立社会保障・人口問題研究所にて第2回理事会が開催された。概要は以下の通り。

1. 会員の異動状況について(総務委員会)

石井総務委員長より、2016年9月末現在の会員数について、通常会員301人、学生会員32人、名誉会員10人、団体／賛助会員7団体、特別会員4法人との報告がなされた。また、新規入会者1名の申込みの承認が行われた。

2. 第69回大会について(大会企画委員会、大会運営委員会)

大会運営委員会から、次期大会の運営に関する資料が提出された。また、和田大会企画委員長より、企画、テーマセッション、及びシンポジウムについて説明があり、大会の運営・企画に関して了承されるとともに、その他必要な点について引き続き検討を続けるよう会長より指示があった。

3. 編集委員会からの報告及び審議依頼事項(編集委員会)

林編集委員長より現在の編集状況について報告があった。また、学会誌のオンラインジャーナル化について、新たにワーキンググループを組織し、論点を整理したい旨、提案があり、承認された。

4. 地域部会からの報告と提案(地域部会)

原地域部会長より地域部会の予算執行に際して事前の概算払いを認めてほしい旨、また、各地域部会長を推薦理事として加えてほしい旨、要請があった。それに対し、石井総務委員長より、事前の概算払いについては昨年度から対応していること、及び部会長の推薦理事としての指名については、次期総会で提案し、承認されれば可能であるとの説明があった。

5. 人口学事典等について

原理事より、人口学事典の編集委員会のメンバーはそのままとしたいとの申し出があった。また、Springerのシリーズの編集委員会は、現在は立ち上げ時のメンバーとなっているが、必要に応じて随時差し替えたいこと、投稿の募集を随時行っているため、理事の先生方のご推薦いただきたいこと、英書の企画を年間8本出す計画となっているところ、現状その半数程度なので企画を投稿してほしいことについて要請があった。

6. IUSSP国際セミナーについて

黒須副会長より、IUSSP国際セミナーを麗澤大学で開催予定であり、これを人口学会協賛としたい旨、提案があったところ、了承された。

日本人口学会 会報 第72号 2016年12月発行
編集発行責任：日本人口学会2016～2017年度総務委員会

日本人口学会事務局連絡先：
〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4F
一般社団法人学会支援機構内
TEL: 03-5981-6011 FAX: 03-5981-6012
E-mail: paoj@asas-mail.jp
<http://www.soc.nii.ac.jp/paj/index.html>